

テーマ「学生と教職員の交流 ～ピザパーティー～」

カテゴリー：⑤その他（学生・教職員の交流）

学校概要

学校名：新潟県厚生農業協同組合連合会 佐渡看護専門学校

所在地：新潟県佐渡市千種 121 番地

課程：3年課程 1学年定員数：40名 修業年限：3年



【内容】

令和元年より学生と教職員の交流を目的にピザパーティーを始め今年度で6年目となる。ピザ窯は学校長が設計し制作したものである。学年を超えた学生間の交流の他、教職員との交流の場として毎年数回ずつ開催している。

教職員がこの会を企画運営している。地元の野菜を職員が持ち寄り、市販のピザに野菜をトッピングシアレンジをしている。ピザ窯の火力を調整しながらピザを焼くのは学校長が努め、終始ピザ窯の前で多い時には40枚程度のピザを一人で焼き上げ、学生に振舞っている。

この時は学校長ともコミュニケーションがとれるチャンスであり、学校長の回りに学生が集まり普段は聞けないような様々な会話を楽しんでいる。また、教職員とも授業や実習以外の会話ができることでお互いを知る時間となっている。このような時間を共有しながら学生の状況を把握し、ストレスによる体調不良や学校生活の悩みやつまづきを早期に知りその後の対応にもつながっている。

このパーティーでは、上級生が下級生に対して焼けたピザを運ぶ姿や、裏方として動く教職員の手伝い、食べ終わったゴミの後片づけを率先して行う行動が見られる。このように、自然と他学年の学生や教職員への気遣いが生まれている。

何より、学生も教職員も同じ時間を楽しく過ごすことで同じ看護を学ぶ者同士の一体感を感じられる時間となっている。



【ピザを焼く学校長と学生】
自然と学校長の回りに学生が集まり会話が始まる



佐渡看護専門学校におけるピザパーティーの効果

- ①学生間、学生と教職員のコミュニケーションを通じた人間関係の構築
- ②学生も教職員も同じ時間を楽しく過ごし、ストレス発散
- ③学生の新たな一面を知り、学生の持っている力を活かした学生指導への活用
- ④学生の悩みやメンタル不調に対する早期発見と早期介入

